

不登校と哲学プラクティス

オンライン・シンポジウム



哲学に何ができるのか？

哲学カフェ、子どもの哲学、哲学相談といった哲学を実践する活動である「哲学プラクティス」が日本国内でも広がりを見せています。

今回は、不登校と哲学プラクティスについて考えるオンライン・シンポジウムを行います。

不登校という現象は、それほど珍しいことではなくなっています。

今回のシンポジウムでは広い意味で、学校に行きにくかったり、学校にかかわりにくい子どもたちと哲学プラクティスとのかかわりについて考えます。

それぞれのかたちで哲学プラクティスを実践している実践者たちが、哲学プラクティスと不登校のかかわりについて経験を語ります。

その後、対話の時間に、参加者たちとともに考える時間を持ちたいと思います。

日時：2021年1月30日 13:00～16:00

場所：Zoom 要登録

下記のメールアドレスまで、件名を「シンポ申込」としたうえで、①お名前、②ご所属(任意)をメールで1月24日までにお申込下さい。前日にZOOMの招待メールを送信します。

※お送りいただいた個人情報は、本シンポジウムの運営の目的のみに使用いたします。

稲原美苗（神戸大学大学院人間発達環境学研究科）philosophy_cafe@koala.kobe-u.ac.jp

- 13:00-13:20 哲学プラクティスと当事者研究～エンパワメントの技術～(仮)
稲原 美苗（神戸大学大学院人間環境学研究科）
- 13:20-13:40 居場所対話をする～不登校児との対話～
赤井 郁夫（一般社団法人 officeひと房の葡萄）
- 13:40-13:50 休憩
- 13:50-14:10 臨床哲学と不登校
中川 雅道（神戸大学附属中等教育学校）
- 14:10-14:30 子どもの哲学と不登校～当事者と教師の狭間で考える～(仮)
村瀬 智之（東京工業高等専門学校）
- 14:30-14:40 休憩
- 14:40-15:40 全体での対話

主催：日本学術振興会科学研究費基盤 B 19H01185

「哲学プラクティスと当事者研究の融合：マイノリティ当事者のための対話と支援考察」(代表：稲原美苗)

共催：神戸大学大学院人間発達環境学研究科 ヒューマン・コミュニティ創成研究センター

協力：カフェフィロ <http://cafephilo.jp/>

問い合わせ：philosophy_cafe@koala.kobe-u.ac.jp（稲原美苗）